

## 要望書（回答）

1. 「非核平和都市条例」を有する苫小牧市の公道で戦車等の自走訓練があたりまえのように行われることに反対する姿勢を、市長は市民を代表する立場として表明すること。

【回答】（市民生活部危機管理室 担当）

この度の訓練は、核兵器に関する内容ではなく、非核平和都市条例の趣旨を逸脱するものではないと考えております。

また、自衛隊の訓練については、国土防衛のため有事に備えた様々な想定で国が決定していることであり、市として中止を求める立場にないと考えておりますが、今後とも自衛隊に対しては、市民の安全・安心を守る立場から、機会を捉えて市民からのご意見等を伝えてまいります。

2. 戦車等が多くの住民の安穏な夜の時間帯に公道を自走し、住宅街を自走することは市民生活にも悪影響を与えるものであることを踏まえ、住民に不安を与えることがないように自衛隊に申し入れを行うこと。

【回答】（市民生活部危機管理室 担当）

市におきましては、陸上自衛隊第7師団に対して、住民への最大限の配慮として、キャタピラにはゴムパットを装着させ、市街地に関しては時速20km以下で走行するよう強く要請しており、訓練においてはこれに沿って実施されております。

あわせて、訓練実施日には現地に職員を配備するなど、万が一に備え万全の体制で対応しているところであり、今後とも、市民の安全・安心の観点から、適切に対応してまいります。

3. 可能な限り詳細な情報を市民に適切な形で提供できるようにすること。

【回答】（市民生活部危機管理室 担当）

市民の不安を取り除くためにも、訓練実施前には、市ホームページ・フェイスブック・LINE・北海道新聞及び苫小牧民報に掲載する他、走行区間の沿道世帯に対して、事前に周知チラシを配布するなど、様々な媒体により周知を図ってまいります。また、訓練実施後には騒音振動の詳細結果を市ホームページに掲載し、適切かつ速やかな情報提供に努めてまいります。

4. 「第 67 回苫小牧港祭り」会場で自衛隊車両の展示が初めて行われました。平和な港祭り会場には似合いません。来期からの中止を求めます。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

港まつりにおける自衛隊車両の展示につきましては、災害派遣等にも使用する車両であることから車両の展示を承認したものでございます。

来年度以降の車両展示につきましては、この度の要望も含め実行委員会の中で検討してまいりたいと考えております。